

白谷雲水峽

中央中学校三年 小倉 蓮

夏休みにぼくは、父と弟と白谷雲水峽に登りました。

ぼくの父がガイドをしているので登る前は何を教えてくれるのかワクワクしていききました。まず、白谷雲水峽に行くためには、二分かけて車で登りました。

着いたらまずぼくが、かい岩がありました。

その岩をこえたら木で作られた階段とエ×

屋久島町立 中央中学校

ラルドグリーンに光る川がありました。

幼いころから父がとった写真を見て「きれいだな」と思っていました。生で見ると想像を絶するものでした。

屋久島の川はこんなにもきれいなんだな、と改めて感じました。

そして次は木の階段を登ると吊り橋がありました。

ぼくは高所恐怖所なので怖かったです。

吊り橋を渡り終わるといいと険しい小道

です。

その険しい小道は根っこがむき出しになつて石がゴロゴロしておりとても歩ける道ではないほどの道でした。

その道はほとんど歩いていくとヒメシャラやサルスベリ、杉といった植物がならんでいた。湧き水が小道に流れこんできたりしていつとも神秘的な光景でした。そこをもうちょっと歩いていくと、くぐり杉といつた杉をくぐれる場所に着きました。そのくぐり杉をく

屋久島町立 中央中学校

ぐると杉でできた鹿の家と小さな小屋がありました。そこで父が用を足してほとんど登つていきました。

そりすると、苔むす森という所に着きました。

そこは、つものり姫の舞台の場所でした。

そこは、苔で石がおおわれていてとてもきれ

いな場所でも何度もシャッターを切りました。

そしてまた小道を歩いていくと、ちよつとひ

かりた場所に着きました。そして、ほくかも

ってきたおやつを三人で食べて休憩をしまし

た。

これからは険しい坂道です。坂道を登ること十分。7ハに目指してた太鼓岩です。

3、2、1で太鼓岩から下を見下ろしてみるとそこには想像を絶する神秘的な光景がありました。

ぼくはそこで、観光客も多々いる中で「わーすごい」と大きな声をあげてしまいました。すると父が急に岩をたたき始めました。

最初は弟と二人で「頭おかしんじ」ねーなど

屋久島町立中央中学校

とバカにしていきましたが、まぐ身を登りしておると「ポンポン」という太鼓のまぐ音がきこえてきました。

そこでぼくと弟も岩をたたき「ポンポン」という音を鳴らして楽しめました。

次は絶対縄文時代にこの三人で登りたいと思いました。

これがぼくの男三人で汗臭く登った夏休みの思い出です。